

_____ 年 _____ 月 _____ 日

保 証 書

名古屋学院大学学長 殿

志望研究科 _____ 研究科 _____ 専攻 _____

志願者氏名 _____

以上の者の在学中は、学則を厳守せしめること、学業に専念させること、その身上および学費（標準修業年限修士2年間、博士3年間の学費の合計金額を限度）について保証人が一切の責任を引き受けることを保証します。また、帰国旅費等についても一切の責任を持ち、休学、退学、除籍の場合、修了後の進学、就職が確定しない場合には、責任を持って帰国させることを誓約します。

第一保証人（父母またはそれに準ずる方）

氏 名（自署） _____ (印) 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日（才）

志願者との関係 _____ 年 収 _____ 円

現住所 〒 _____

_____ Tel (_____) _____ - _____

勤務先名 _____ 勤務先Tel (_____) _____ - _____

勤務先住所 〒 _____

第二保証人（日本国内在住者）

氏 名（自署） _____ (印) 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日（才）

志願者との関係 _____ 年 収 _____ 円

現住所 〒 _____

_____ Tel (_____) _____ - _____

勤務先名 _____ 勤務先Tel (_____) _____ - _____

勤務先住所 〒 _____

* 記入方法は裏面参照のこと

保証書の書き方

記入に当たっては、必ずこの「保証書の書き方」にしたがってください。
書類に不備があった場合、出願資格が認められない場合があります。保証書の記入内容
および第二保証人に関する書類に間違いのないようにしてください。

1. 「黒（または青）ボールペン」を使用し、楷書で正確に記入してください。
2. 受験生本人と第一・第二保証人は、それぞれの人各自が自筆で記入し、自身の印鑑を使用してください。印鑑のない場合は、署名をしてください。（スタンプ印、代理記入不可）
3. 第一保証人は、受験生本人の父母またはそれに準ずる方が記入してください。第一保証人が海外在住者で自筆記入が困難な場合は、別途ご相談ください。
4. 第二保証人は、日本国内在住者で父母またはそれに準ずる方と同等に受験生を保証できる方が記入してください。（第一保証人が日本国内在住者の場合は除く）
5. 保証書は、出願要件となっておりますので、虚偽の記載等が発見された場合、入学を取り消されることもあります。

第二保証人に関する次の書類を保証書と一緒に提出して下さい。

- 日本人の方の場合……………住民票
- 日本在住の外国籍の方の場合…外国人登録証の両面をコピーしたもの